

# Jera

エネルギーを新しい時代へ

## JERA事業計画説明資料



株式会社 J E R A  
2016年2月10日



## 【本日の内容】

---

1. JERAの企業理念
2. 経営目標
3. 事業領域の拡大
4. 事業別成長戦略
5. 2030年度の姿
6. 組織
7. JERAの使命

# 1. JERAの企業理念

## <当社の存在意義>

### ミッション (Mission)

国際競争力ある電力・エネルギーの供給を実現して、  
日本、さらには世界の人びとの豊かなくらしと産業・  
経済の活力向上に貢献します

## <ミッション実現のための道筋>

### ビジョン (Vision)

グローバル  
エネルギー企業

オリジネーション  
とオプティマイ  
ゼーションを両輪

俊敏・創造的・  
挑戦心に満ちた  
コーポレート  
カルチャー

## <行動理念>

### バリュー (Value)

俊敏

創造

挑戦

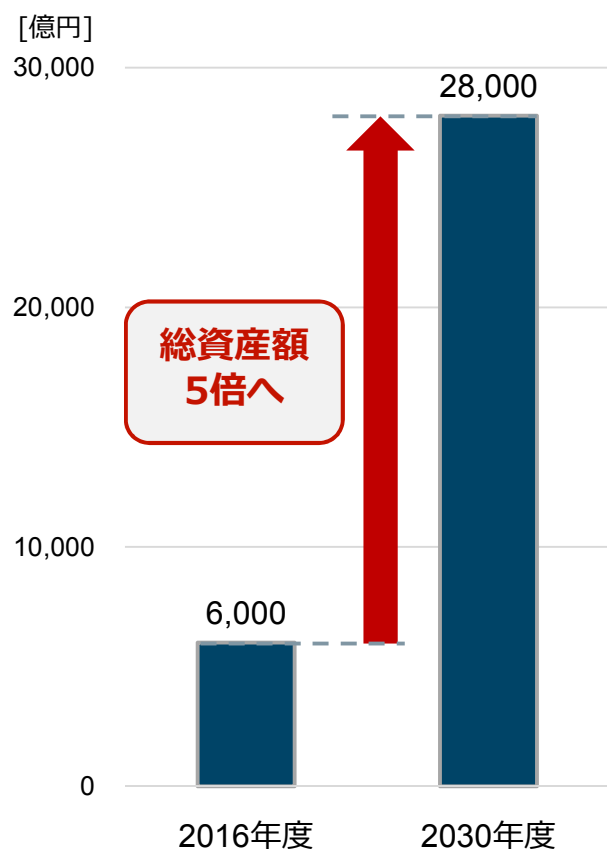
卓越

多様

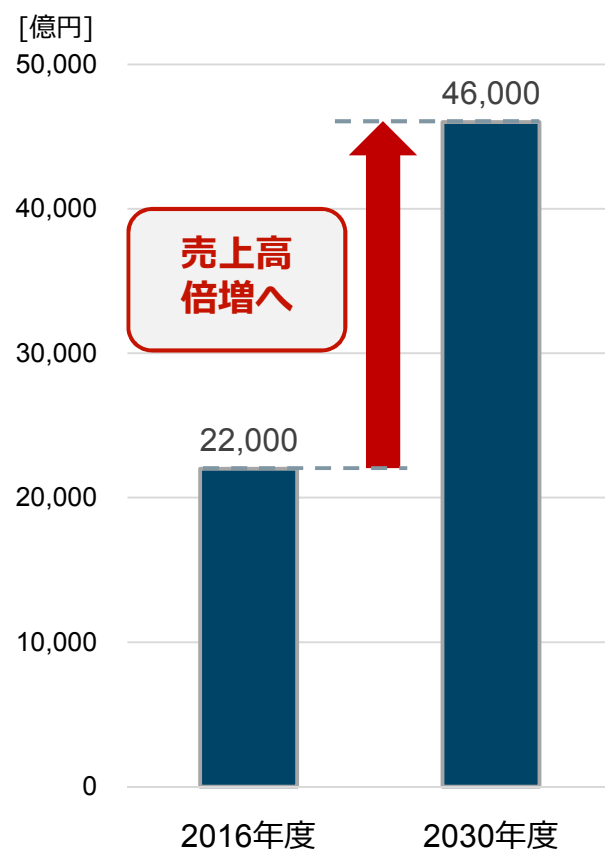
公正

## 2-1. 経営目標

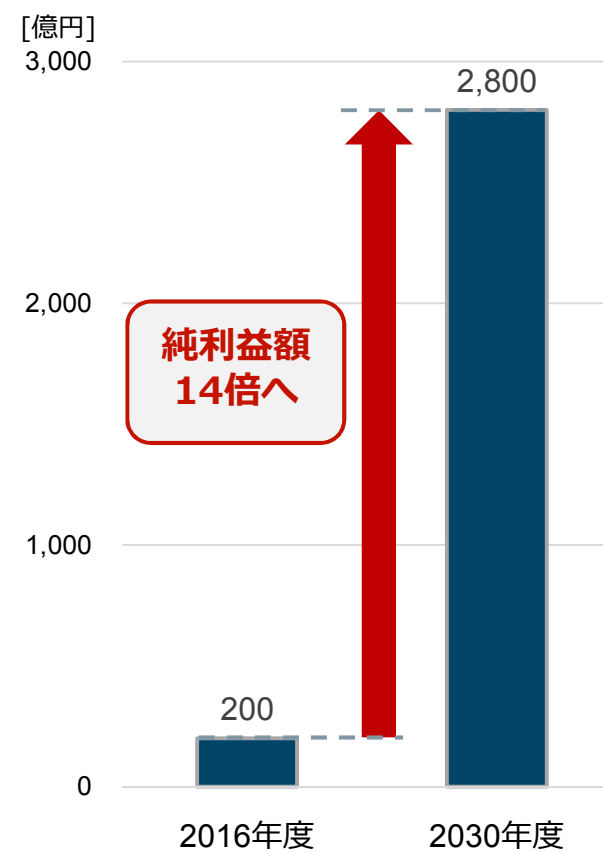
### <総資産額>



### <売上高>

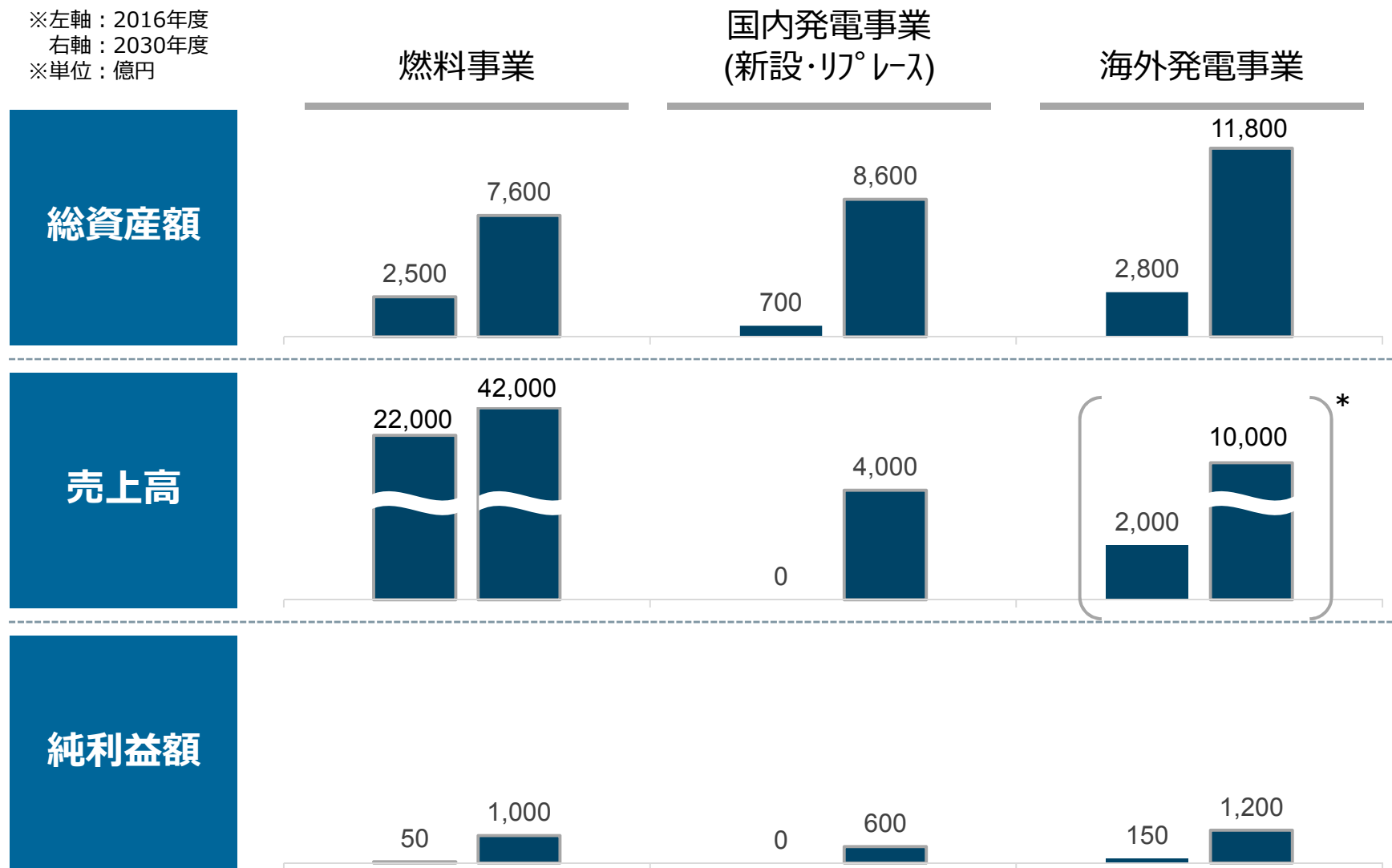


### <純利益額>

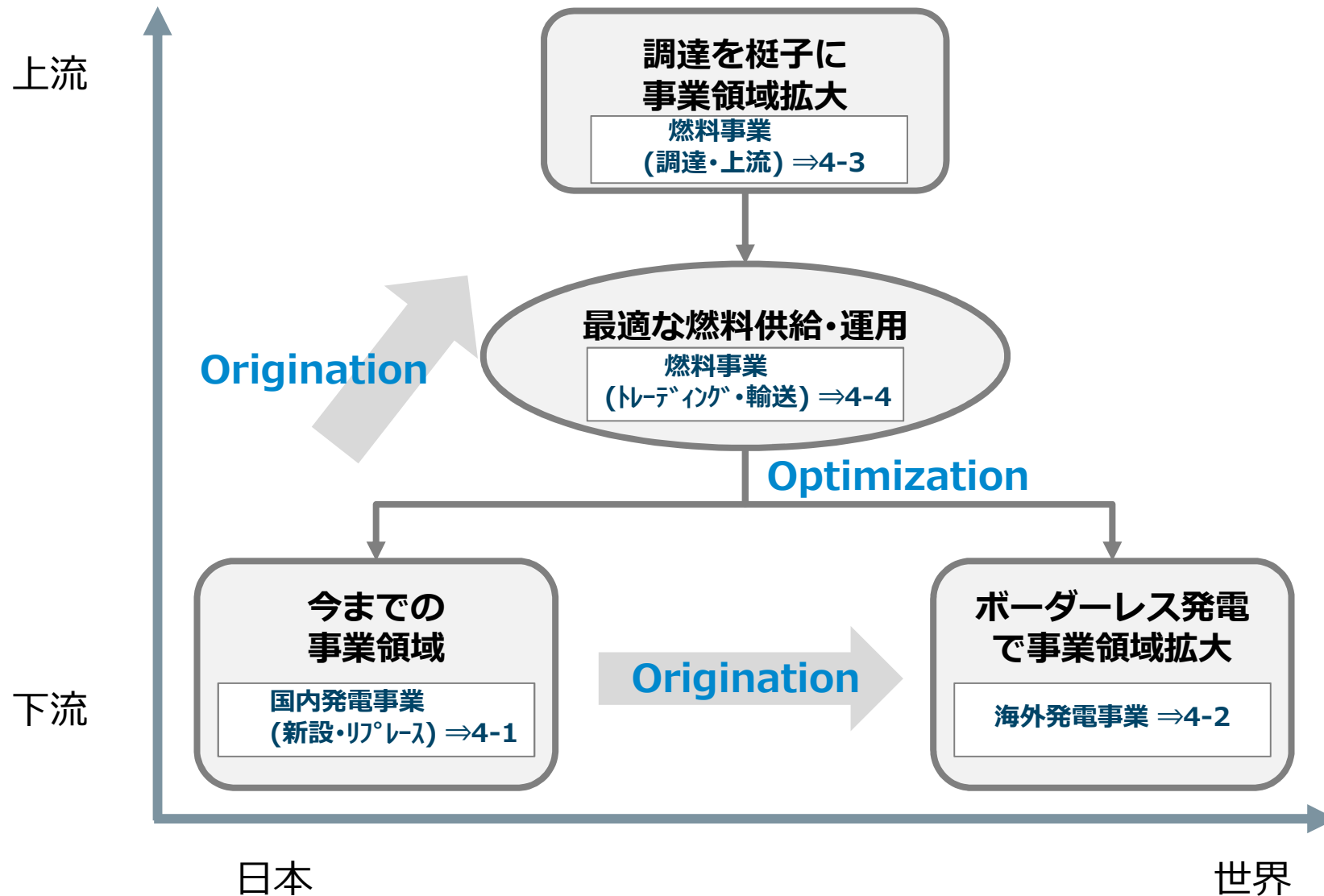


## 2-2. 経営目標(事業別)

※左軸：2016年度  
右軸：2030年度  
※単位：億円



### 3. 事業領域の拡大



# 4-1. 事業別成長戦略－国内発電事業(新設・リブレース)－

		2016年7月時点	2030年度
国内発電事業 (新設・リブレース)	発電規模	65万kW (1地点)	1,200万kW程度 (10地点程度)

- 既存インフラを活かし、最新技術を活用したリブレース推進により、競争力向上と環境負荷低減を両立
- 将来の需要変動や政策動向等も踏まえ柔軟に開発



## 中部電力・東京電力の既存インフラ

[凡例] ● : 火力発電所  
— : ガスパイプライン



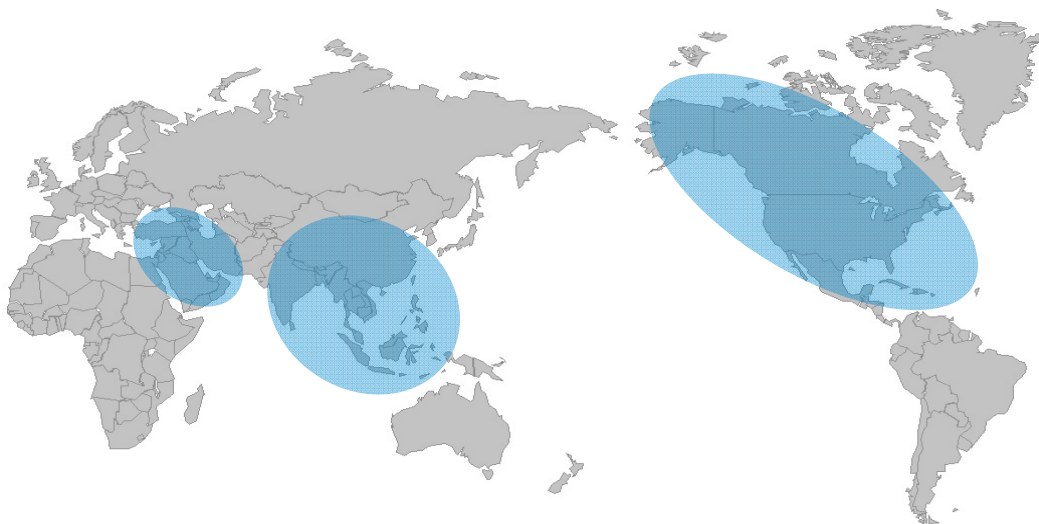
## 4-2. 事業別成長戦略－海外発電事業－

		2016年7月時点	2030年度
海外発電事業	発電規模 (持分出力)	600万kW程度	2,000万kW程度

### エネルギーフルラインナップを活かした成長戦略

- アジア・中東・北米を重点に、それ以外の地域へも展開
- 北米等のマーチャント発電事業\*も拡大
- 再生可能エネルギーも積極的に開発

### 2030年度に向けた重点地域



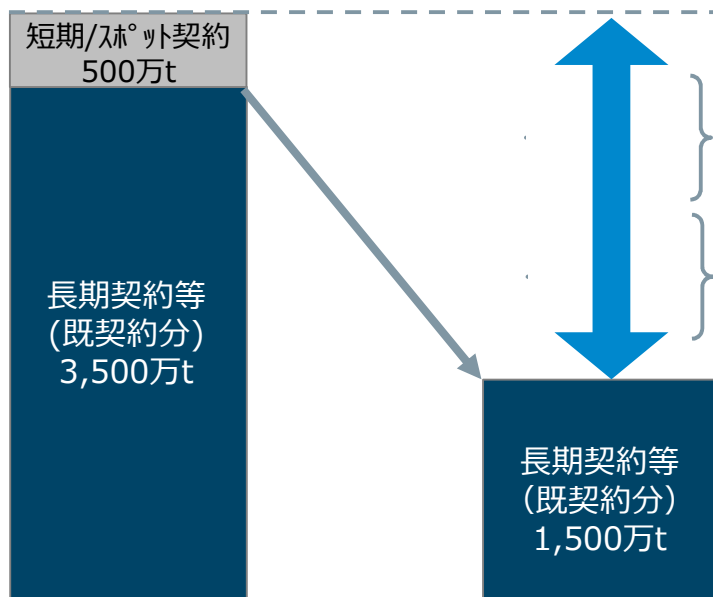


## 4-3. 事業別成長戦略－燃料事業(調達・上流)－

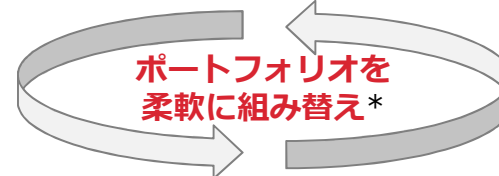
燃料事業 (調達・上流)		2016年7月時点	2030年度
	LNG取扱規模	4,000万t程度	3,000~4,000万t
	石炭取扱規模	2,000万t程度	2,000~3,000万t
	投資案件数	6件	12件程度

- 世界最大級の調達規模を梃子に燃料調達・上流の最適ポートフォリオを形成
- 事業環境の変化に強い調達・事業開発体制を構築

### LNGの最適ポートフォリオ形成のイメージ



#### ■ 短期/スポット契約で調達

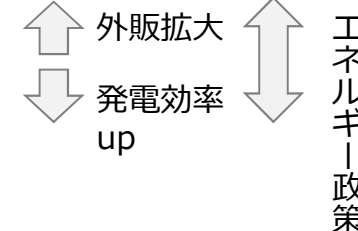


#### ■ 長期契約で調達

上流権益獲得を並行して検討



#### 取扱規模の変動要因



\*弾力性に優れた短期/スポット契約と経済性・安定性に優れた長期契約を組合せて調達

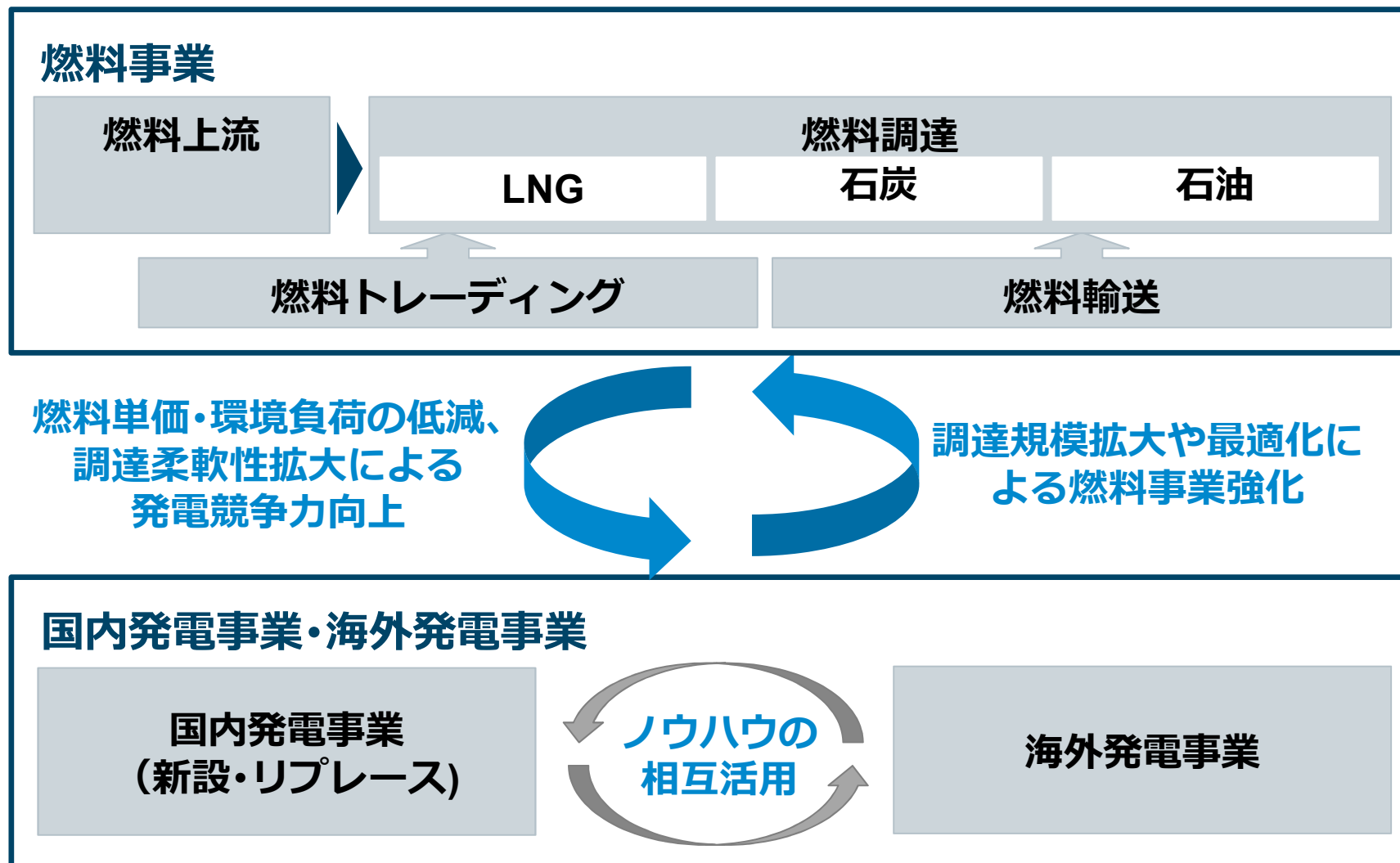
# 4-4. 事業別成長戦略－燃料事業(トレーディング・輸送)－

		2016年7月時点	2030年度
燃料事業(トレーディング・輸送)	LNG輸送船団	16隻	30隻程度

- 自社輸送船団のフル活用と海外燃料市場を活用したトレーディング事業拡大によりオプティマイゼーションを追求
- 市場の流動性向上に貢献し、燃料市場の変革をリードするプレーヤーに  
トレーディングフローの一例



## 4-5. 事業別成長戦略－シナジー効果－

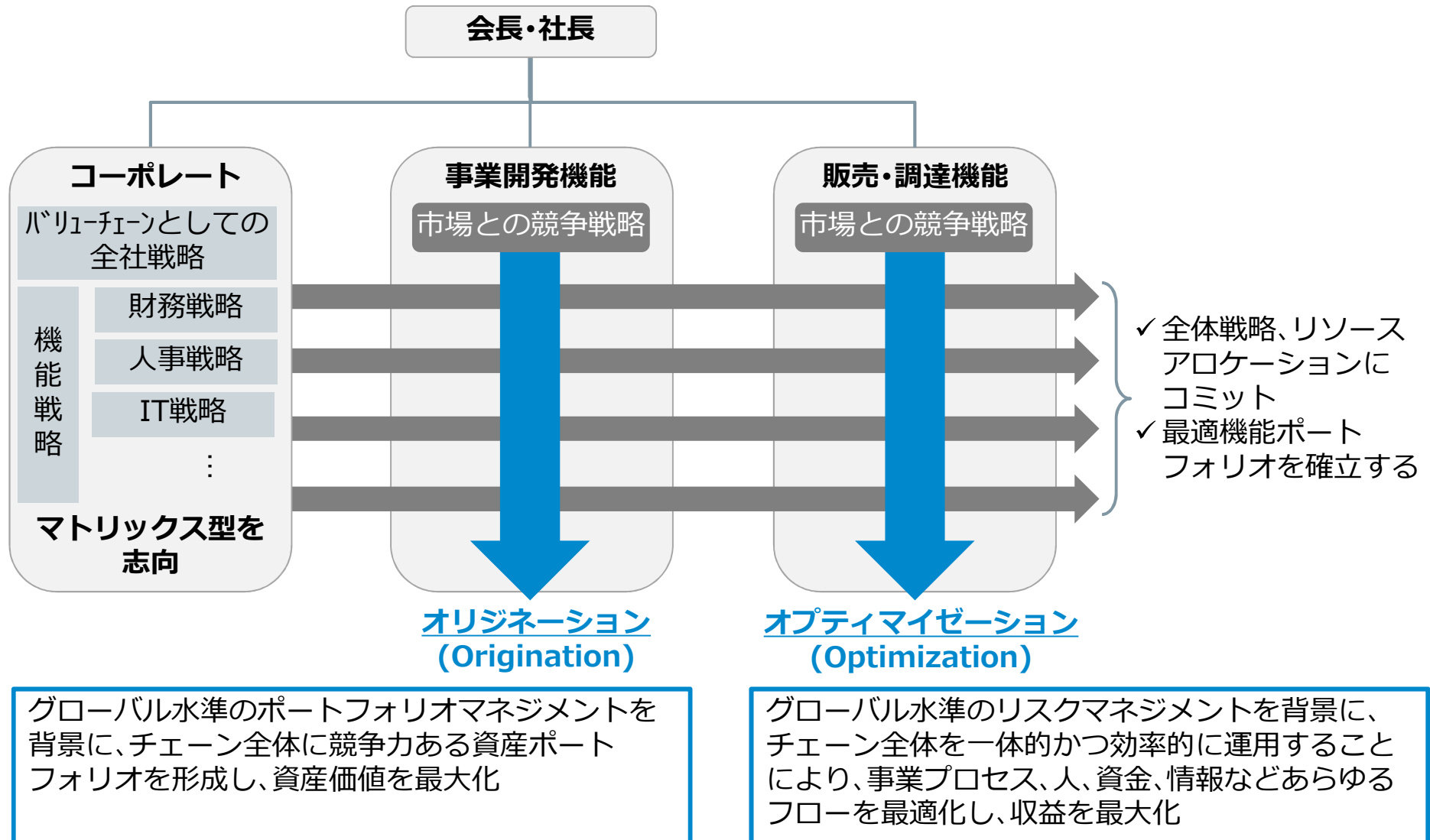


## 5. 2030年度の姿

### ● 2030年度までに以下の姿に成長

			2030年度	成長のポイント
国内発電事業 (新設・リプレイス)		発電規模	1,200万kW程度	高効率発電の新設/ リプレイスを通じ、 環境負荷低減に 貢献
		発電規模 (持分出力)	2,000万kW程度	
燃料事業		LNG 取扱規模	3,000~4,000万t	世界最大級の 調達量を梃子に、 トレーディングと 上流投資に積極参画
		石炭 取扱規模	2,000~3,000万t	
		投資 案件数	12件程度	
		LNG 輸送船団	30隻程度	

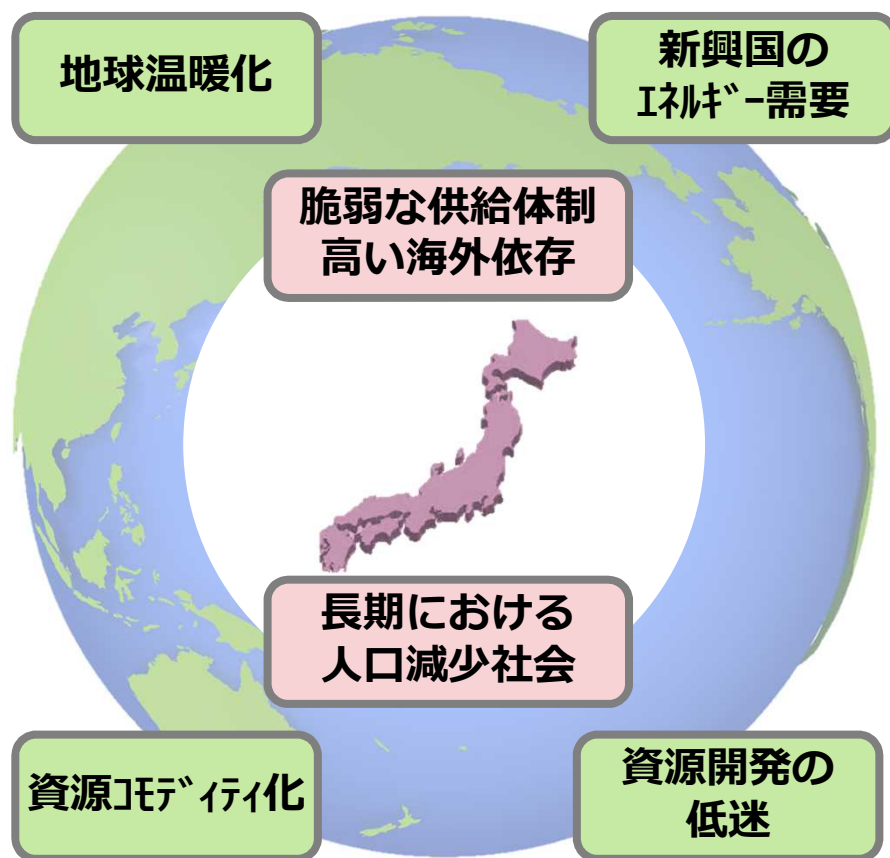
## 6. 組織



# 7. JERAの使命

日本のエネルギー需給構造や世界のエネルギー市場における課題の解決にJERAとして貢献  
これらを通じてJERAとしての企業価値を向上

## エネルギー上の課題



## JERAの役割

### 資源確保

- 長期契約のコミットによる長期供給源の確保
- 調達を梃子とした上流資源の確保

### 市場流動化

- 資源価格や需要変動に対応できるトレーディングビジネスモデルを確立

### 最高効率電源

- 従来電源を最高水準の効率を持つ電源にリプレース

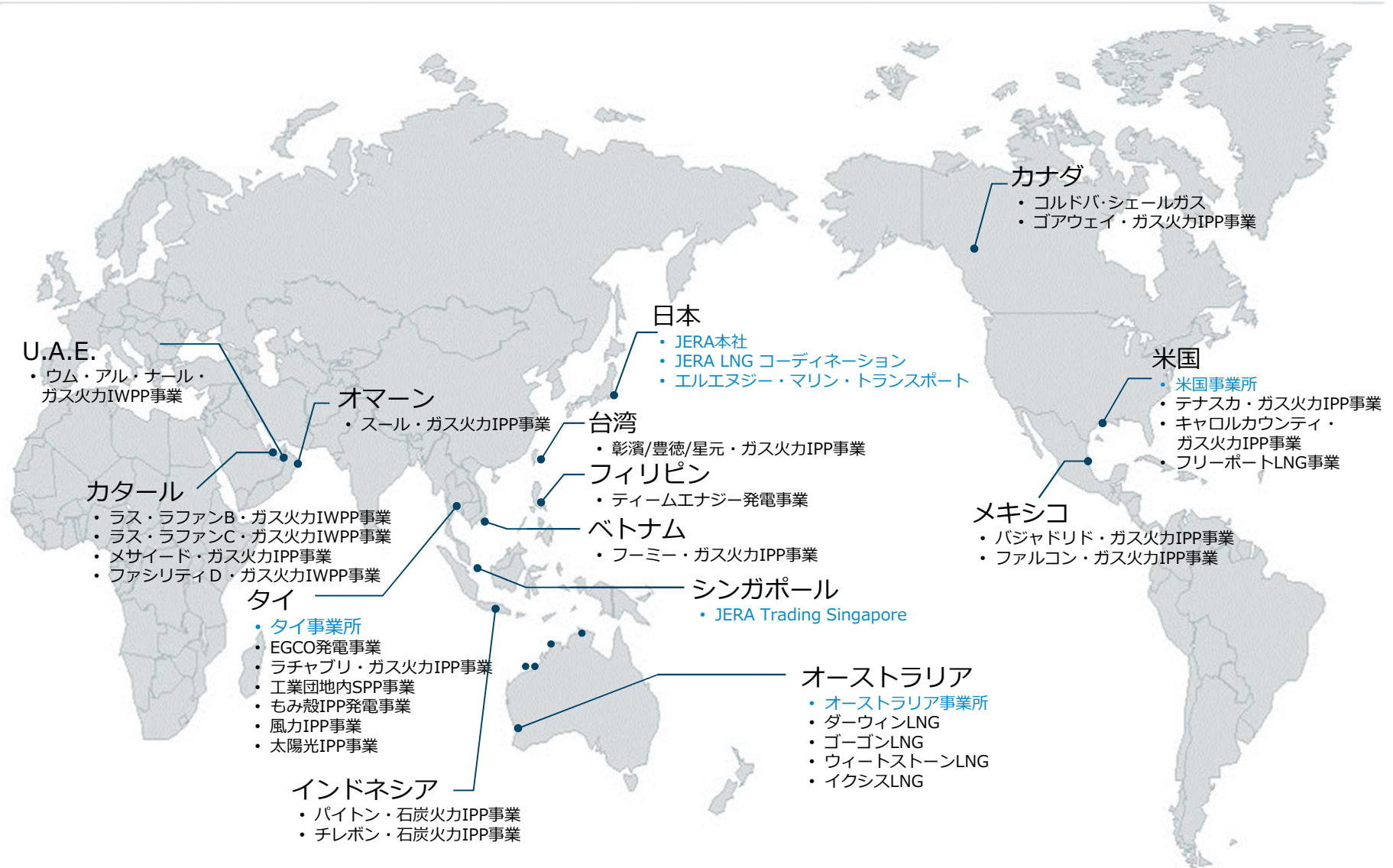
### サステナビリティ

- 再生可能エネルギーと火力電源をポートフォリオ開発

### 新興国への貢献

- 燃料供給を含めた安定性、経済性に優れた発電ビジネスモデルを提案

# [参考] JERAグループの拠点・参画案件\*(2016年7月時点)



### 将来の見通しの記述について

本資料にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づいたものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、為替レート等不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本資料の記述と異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。